



構成員アンケートについて

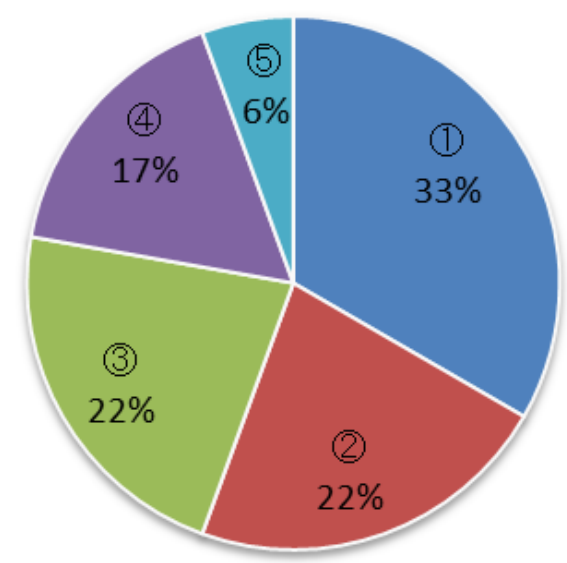
埼玉県 都市整備部 都市計画課
総務・企画担当



○平成30年度のコンテナラウンドユースの取組について
 ※対前年度(平成29年度)比較

CRUの取組状況

- 3割以上の構成員において
取組件数が増加
- 取組件数
平均 1.6倍に増加
最大 約3倍に増加



- ① 増加した
- ② 変わらない
- ③ 減少した
- ④ 取組実績はまだない
- ⑤ その他



○最新技術を活用した取組について

- RPA利用による顧客請求作業の自動化
- 大型トラックによる自動運転実証実験
- 自動走行するフォークリフト等による出荷準備作業の自動化

○東京2020オリンピック・パラリンピックに向け検討している取組について

- 地方港等の東京外港の活用
- 地方港から鉄道や内航船を利用する輸送
- CYの長期蔵置の削減
- 納期の調整(前倒し・延期)
- インランドデポを活用した事前保管

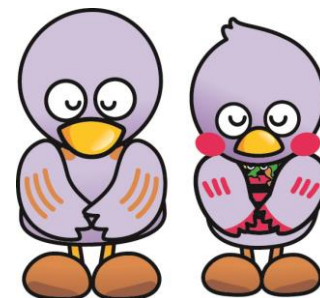


○今後の課題や議題について

- 輸出・輸入の不均衡
- ドライバー不足
- 東京港における空バン返却待ちによる待機時間の悪化
- 「古紙」「廃プラ」の輸出をめぐる方針(対中輸出規制等)
- ラウンドユースのコストメリットについて

～物流効率化の推進に向けて～

- 物流効率化に向けてCRUの輪を広げていくため、多くの企業を巻き込んでいくことが重要です。
- お取引のある企業にもお声掛けいただき、SCRU構成員登録にご協力ください。



埼玉県のマスコット
「コバトン」&「さいたまっち」